

学校名 霧島市立国分小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>霧島市立国分小学校では、総合的な学習の時間において環境について学ぶ時間を設定している。</p> <p>5年生では、SDGsの一つ「海の豊かさを守ろう」に繋がる学習を展開している。「海とわたしたち」をテーマに、海洋環境についての課題を発見し、年間を通して課題解決に取り組み、調べ上げたことをまとめ、地域へ情報発信している。</p> <p>これらの学習を通して、子供一人一人が自分と環境とのつながりに気付き、行動に移していくとともに、地域の様々な人々と関わり合い、協力し合いながら、地域全体の環境保全に対する意識を高められるよう働きかけている。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい ③ 月間又は年間活動回数	<p>令和元年度の教育課程編成において、教育課程にSDGsの視点を位置付けた。また、「探究」の視点を重視し、総合的な学習の時間の活動内容の抜本的な見直しを行った。</p> <p>5年生は、これまでも広く「環境」をテーマに活動していたが、校区に海のない学校だからこそ、「海の豊かさ」に目を向ける意義があると考えた。また、子供たちには、現在の海の状況や地球環境を知り、未来について思考していくことは決して他人事ではなく、身近な問題として主体的に海洋環境の課題と向き合ってほしいという願いから、テーマを「海とわたしたち」に設定した。</p> <p>(開始年月：令和2年4月)</p> <p>海とわたしたち</p> <p>総合的な学習の時間 年間 51 時間</p> <p>(学校での設定時間以外でも、休日や昼休み時間などにも各探究グループで活動したこともあった。)</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	(令和5年度) ・ 下井海岸：ごみ調査，清掃活動 ・ 校区内：清掃活動
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	(令和5年度) 5年生児童 135人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	3時間
⑦ 収集ごみの処分	現地で収集したものを学校に持ち帰り種類ごとに分け，記録・分析した。その後，分別し処分した。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>大テーマである「海とわたしたち」を基に，子供たちは，7月に干潟体験・清掃活動の共通体験を通し，そこから生まれた疑問や気付きから，学級ごとに探究していきたいテーマについて同じ内容のメンバーで班を構成し，思いや願いを共感的に交流し，プロジェクトを立ち上げる。(例：下井海岸の環境を守ろうプロジェクト，海に感謝プロジェクト，国分っ子環境プロジェクト等)</p> <p>子供たちは，課題解決に向けて予想を立てるとともに，インターネットやパンフレット，書籍等を活用するなどして情報を集めた。集めた情報を基に話し合ったり，予想との違いについて検討したりしながら，さらに追究したいことを見付けていった。</p> <p>10月には，2回目の海岸清掃を行い，これまで調べ学習をしてきた成果をさらに高めるようにし，自分たちができることは何かを探究するようにした。</p> <p>2月には，発表会として授業参観で保護者に向けてプレゼンの機会を設けた。その際，保護者の方々から感想や意見をいただいた。</p> <p>年間を通して調べ，まとめてきたことをリーフレットにし，3月には，地域の方々に配布したり公共施設に置かせていただいたりして，地域にも情報を発信していった。</p>

<p>(3) 地域への貢献度</p> <p>① 地域の環境美化への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の活動を中心に学校周辺の清掃活動を行い、身の周りの環境美化についての意識を高め、地域の環境を整備することにつながった。 ・ 霧島市にある海岸清掃を年2回行うことで、自分たちの生活と海の関わりに気付くとともに、自分たちにできることを協働して活動に取り組めるようにした。
<p>② 地域住民との協力活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中で自分たちができることをリーフレットにまとめ、自分たちの言葉で発信した。 (「ゴミのポイ捨て禁止」「3Rを実行しよう」等)
<p>③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を聞いた保護者からは、「子供たちの海を守る思いや願いが伝わった。」という感想をいただいた。 ・ 地域の方々にリーフレットを配布したり、公共施設に配架したりしたことで、子供たちの思いや願いをより多くの人に発信し、伝えることができた。 ・ 地域の方や公共施設から、「地域の環境を自分たちで守ろうという思いがよく伝わった。」「子供たちの取組が地域に広がるように、自分たちもできることに取り組みたい。」などの意見をもらった。そのことが、地域の環境保全に対する意識の高まりにつながったと実感した。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	本校の環境教育全体計画にも総合的な学習の時間の本学習活動を位置付け、環境教育との関連付けも行っている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちが、海との関わりを進んで捉えようとしたり、課題を意識しながら清掃活動を行ったりすることができた。 ・ 学習終了時の子供たちへのアンケートの結果によると、意識調査で、「節電」や「食べ残しを減らす」「3Rを考えながら生活する」など、SDGs への意識が高まったことがうかがえた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>「5・6年生による朝のボランティア活動」</p> <p>年間を通した5・6年生の日常活動として、正門周辺の清掃活動に取り組んでいる。また、児童会による緑の羽根募金など、環境に対する活動を継続的に取り組んでいる。</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃活動による校区外での学習時は、バスで移動し3時間の活動を実施した。 ・ 歩いて行けるところについては、土曜授業日や平日の午前中を使った。(昼休みや放課後においても子供たちが自主的に探究活動をすることもあった。)
3 その他特記事項	なし

「海とわたしたち」の活動の様子

【下井海岸の清掃作業】



【干潟体験】【学校周辺の清掃活動】



【発表会の様子】



(ゴキウカ) (ゴキウカ) 家 (カ) に 持 (も) っ
 去 (い) け (よ) う だ ね。 木 (キ) を 持 (も) っ
 去 (い) け (よ) う だ ね。 木 (キ) を 持 (も) っ

居 (い) る 所 (ところ) に 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う
 だ ね。 木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う

木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う だ ね。

木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う だ ね。

(ゴキウカ) (ゴキウカ) 家 (カ) に 持 (も) っ

去 (い) け (よ) う だ ね。 木 (キ) を 持 (も) っ

木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う だ ね。

木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う だ ね。

木 (キ) を 持 (も) っ 去 (い) け (よ) う だ ね。



これから
 海を
 食べて
 いきます！

〇也 遊

第5学年年間単元配当表

学期	月	単元名(学習の内容) ※学年の主となる内容【環境】			時数
		テーマ学習	学校の特色を生かした活動	緑化	
1学期	4			「花と笑顔を咲かせよう」1h 一人一鉢の片づけ (1・2組), 学年園の 植え付け準備(3・4 組)	1
	5	「海とわたしたち」 I 思いや願いをもつ(6h) 内容例 ・海での経験について話し合う。 ・海との関りについて話し合い、分類する。(例 レジャー・特徴・環境・ゆさ・恵み) ・下井海岸にて清掃活動を行う。(R5年度7月上旬3h) ・問題意識をもつ	「レッツ!自然体験」13h (宿泊学習)		5
	6				9
	7				5
2学期	9	II 目的を共有する(4h) 内容例 ・問題意識ごとで班を編成する。 ・各班で目的を明確にし、問題解決へ向けてのプロジェクトを立ち上げる。 プロジェクト実践例 ・下井の環境を守るプロジェクト →下井海岸に啓発のぼりを立てる。 ・国分っ子環境大切プロジェクト →下井海岸で拾ったごみを使ってゴミアートを作り掲示する。 ・海を知ろうプロジェクト →全校児童を対象に海に関するイベントを開催する。 ・海に感謝プロジェクト →海産物を使った給食のレシピ紹介新聞を作り、各学級に配布する。など			
	10			「花と笑顔を咲かせよう」1h 学年園の花の抜取 (1・2組), 学年園の 植え付け準備(3・4 組)	9
	11	III 活動・体験する(20h) 内容例 ・プロジェクトの計画・準備をする。 ・下井海岸にて打ち合わせ・清掃活動を行う。(R5年度10月上旬3h) IV 思いや願いの実現(5h) ・プロジェクトを実現させる。 内容例 ・下井海岸にて旗を立てたり、ポスターを張ったりする。(R5年度11月中旬社会科見学時) ・全校児童対象のイベントの開催。(R5年度11月下旬 昼休み時間)		「花と笑顔を咲かせよう」3h 一人一鉢の準備・植え付け	8
	12				9
3学期	1	IV 思いや願いをもつ(1h) ・プロジェクト効果をさらに高めるためにはどうしたらよいかという視点で再度思いや願いをもつ。 V 目的を共有する(1h) ・IIの目的がどこまで達成されているか自己評価をさせる。 ・評価に基づいて、新たなプロジェクトやプロジェクトの発信について計画する。 内容例 ・パンフレット作成 ・発表会の実施			7
	2	VI 体験・活動する(11h) ・発表会やパンフレットの計画・準備をする。 VII 思いや願いの実現(2h) ・パンフレット仕上がり(R5年度2月中旬) ・発表会(R5年度2月下旬 授業参観時)			5
	3	IX 振り返る(1h) ・活動を振り返る。		「花と笑顔を咲かせよう」1h 一人一鉢の手入れ	5
計		51	13	6	70

※ モラルマナーの指導内容については、情報教育の指導計画を参照。